

平成 25 年度第 6 回 千葉県支部役員会 議事録

日 時：平成 25 年 10 月 5 日（土）15：30～17：35

場 所：きぼーる 千葉県ビジネス支援センター 13 階 第 2 会議室

1. 幹事出席状況確認（□出席、△欠席・委任状提出、■欠席）

□松井 隆支部長、□稲葉信克、□今住則之、△河北慶介、□川畑真一、△國廣隆紀、
□久保康弘、□桑島英明、□古西義正、■匂坂和夫、□志澤達司、△進藤秀明、
□進藤義男、□滝沢利治、■長見 茂、□花岡善郎、■尾頭 誠、□保坂俊雄、
△松本喜義、□水野正勝、△山下六男、□山本陽一、□和田保久（50 音順）

以上、15 名出席、5 名委任状提出を含め 20 名の幹事が出席して支部役員会が開催された。

2. 議事概要

支部長から、平成 25 年度の支部の活動が着実に進める為、実施計画の実践に取り組むよう
にとの要請と併せて、会員への迅速な情報伝達に関し、支部会員名簿の作成についての議論
の要望があり、審議に入った。

[審議事項]

(1) 役員会議事録の作成について

本日の議事録作成書記は今任幹事に、議事録署名人は、松井支部長、桑島幹事、古西幹事
が承認された。

(2) 第 5 回役員会議事録の確認（資料 6-1）

原案通り承認された。

(3) 第 2 回委員長リーダー会議議事録（資料 6-2）

①千葉県支部会員名簿管理の手引き（案）について、利用の範囲、管理方法を確認した。

・管理規則は当面「管理手引き」として運営する旨あわせて承認を得た。

②理科支援チームの千葉県科学フェスタ参加に際して、技術士会マーク入りユニフォーム
10 枚を作成（概算費用：16,500 円）することが承認された。その後は、今後の技術士
会の行事等 P R に活用していく。

(4) 支部会員名簿管理手引き(案)について（資料 6-3）

・支部長から、案についての説明が行われた。

・久保幹事から、情報機器が多様化していることから 6 条 3 項の「P C」を「P C 等」に
変更して欲しい旨の意見があり、了承された。

・同報メールが複数あることや非会員（約 600 名）、修習技術者（約 720 名）、修習技術者
取得時の登録から更新していない技術士がいること等古西幹事から発言があり、会員拡
大を図る上でこれらへの情報発信も検討の余地があることを確認した。

- ・ B表は、会員外であり会員名簿の範疇ではないが、会員拡大を図る位置づけであり、企画委員会が管理する。
 - ・ 各部門別の作成は川畑幹事が作成することになった。
 - ・ 非会員、修習技術者の扱いや本部が管理する同報メールが複数あるなどの問題はあるが、とりあえずこの内容でスタートすることに決まった。
- (5) 技術士会マーク入りユニフォーム 10 枚作成することについては承認を得た。会計上の処理については山本幹事が確認することとした。

[委員会・チーム活動報告]

(1) 総務委員会

なし。

(2) 企画委員会 (資料 6-4)

- ・ 先月、第 7 回見学会として日立メディコ柏事業場の見学会を実施。38 名参加。
- ・ 第 8 回以降第 10 回までの CPD の計画は次のとおり確定しており皆さんの参加をお願いしたい。
 - ①第 8 回は、10 月 19 日、千葉市科学フェスタサテライトイベントの一環として科学技術講演会を予定。
 - ②第 9 回は、道路のネットワーク関連のテーマについて講演を予定。場所は千葉県文化会館。当技術士会の道路担当講師は、支部会員で野村貢氏 ((株)建設技研在籍) をお願いしている。
 - ③第 10 回は、開業を目指す技術士を対象として、独立開業経験者にそのノウハウについて講演を依頼している。(講師 4 名)

(3) 広報委員会 (資料 6-5)

- ・ 支部のホームページをリニューアルした。次週早々に切り替えの予定。
- ・ 新ホームページは、CMS (コンテンツマネジメントシステム) を利用し書替えが容易になっている。書替え時は、管理者を設け作成者が承諾を得た後、本部のホームページを差し替える。現在、作成者が古西幹事、承認者が川畑委員長で本部に届けている。なお、古西幹事が今月末から 2,3 ヶ月間タイに長期海外出張の為不在になるので、その間の CPD 参加確認等のため情報管理者登録を川畑広報委員長から保坂企画委員長に変更することを本部に申し入れる。

(4) 活動推進委員会 (資料 6-6)

1) 企業支援チーム

①企業との交流活発化:

- ・ 支部イベントの工場見学会に技術士会としては初めて企業を勧誘。参加企業 5 社は中小企業ものづくり補助金 (最大 1 社 1000 万円) が採択された企業。このうち、4 社は当チームが個人契約して支援した企業である。25 年度補正予算では 2000 億の

助成金が組まれている。1社に対しては最大2000万となっているので次年度も積極的に取り組んで増やして行きたい。

- ・10月19日のCPD科学技術講演会に企業参加を呼び掛けている。(メールで31社)
- ・25年1月に企業の開発発表会を予定。千葉県ものづくり採択企業186社(名簿は18社)、経営革新企業約100社を対象に追加発信できるように考えている。

②人材資源名簿作り

- ・現在、79名を登録。
- ・作成した名簿については、技術相談者の補充、支部活動への勧誘、船橋市役所ものづくり評価委員への推薦などに活かしている。
- ・今後は、企業訪問時の活用、技術士自体のPR、技術相談ネットワークなどに利用して行きたい。

③中小企業・小規模事業者ビジネス創造等線事業における専門家登録について(資料6-7)

- ・新現役の制度が一旦廃止されたが、その後マネジメントメンター支援制度ができ、新現の希望者がこれに合流した。
- ・中小企業庁が主体になって、小規模事業者・起業家と専門家がマッチングできる支援ポータルサイト「ミラサポ」を立ち上げた。千葉県では公益財団法人千葉県産業振興センターが9月からスタート。登録の仕方はHP資料に記載しているので申込みをしてほしい。
- ・この件については、文書を作成し、広報から支部会員に登録を促すように案内することも考える。
- ・中小企業支援プラットフォームの設立については、千葉県の場合今年度すでに締め切られており、次回申込み時に登録を予定する。

2) 防災支援チームほか

なし

(5) その他

- 1) 千葉市科学技術フェスタ2013には、サポート役として会員に協力して欲しい。(支部長)
- 2) 千葉商工会議所サービス部会から、常任委員(任期3年)を引き受けて欲しい旨の案内を受けている。(支部長)
- 3) 地域産業活性化支援実行委員会から中小企業への支援事例の実績提出依頼を受けているので、提出できる方はお願いしたい。(桑島チームリーダー)
- 4) 事務所有効活用の一環として、花岡幹事から情報交換会の開催等の提案があり、これについては総務委員会から案を作成し、次回に議論することの提案があった。委員長リーダー会議で提案して役員会に諮りたい。
- 5) 広報委員会では、技術士会のSNSを試用して見ようと提案していますが、委員の皆様

から賛同を得ていません。試用結果がでた段階で報告・提案する。

(6) 平成 25 年度第 7 回役員会：平成 25 年 11 月 2 日（土）15：30～18：00

千葉県ビジネス支援センター きぼーる 13F 特別会議室
(公益財団法人 千葉県産業振興財団)

[配付資料]

(資料 6-1) 第 5 回千葉支部役員会議事録(案)

(資料 6-2) 第 2 回千葉県支部・委員長リーダー会議議事録

(資料 6-3) 千葉県支部会員名簿管理の手引き(案)

(資料 6-4) 企画委員会報告・平成 25 年度 CPD 実績と予定

(資料 6-5) 公益社団法人日本技術士会千葉県支部 HP リニューアルのお知らせ

(資料 6-6) 企業支援チーム活動報告

(資料 6-7) 「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援」における専門家登録について

議事録作成者 今住 則之

議事録署名人（署名捺印） 松井 隆

桑島 英明

古西 義正

以上